

中学年部会

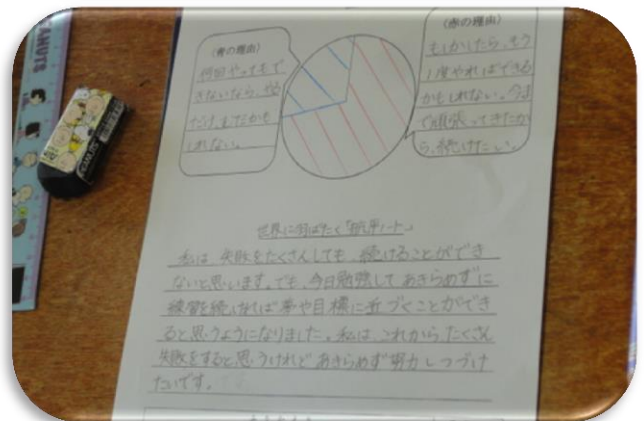
主題名 やさしく親切に【内容項目 B 親切・思いやり】
資料名 「心の信号機」(「みんなのどうとく」学研)



高学年部会

主題名 たゆまぬ努力と夢の実現【内容項目 A 努力と強い意志】

資料名 「世界に羽ばたく『航平ノート』」(「みんなのどうとく」学研)



参会者の感想

1 研究授業及び分科会をとおして参考になったことは何ですか（特に多かったもの）

低学年部会

- ・話し合い活動の工夫
- ・発問の工夫
- ・板書を生かす工夫

中学年部会

- ・話し合い活動の工夫
- ・指導案の書き方
- ・導入における資料提示の工夫

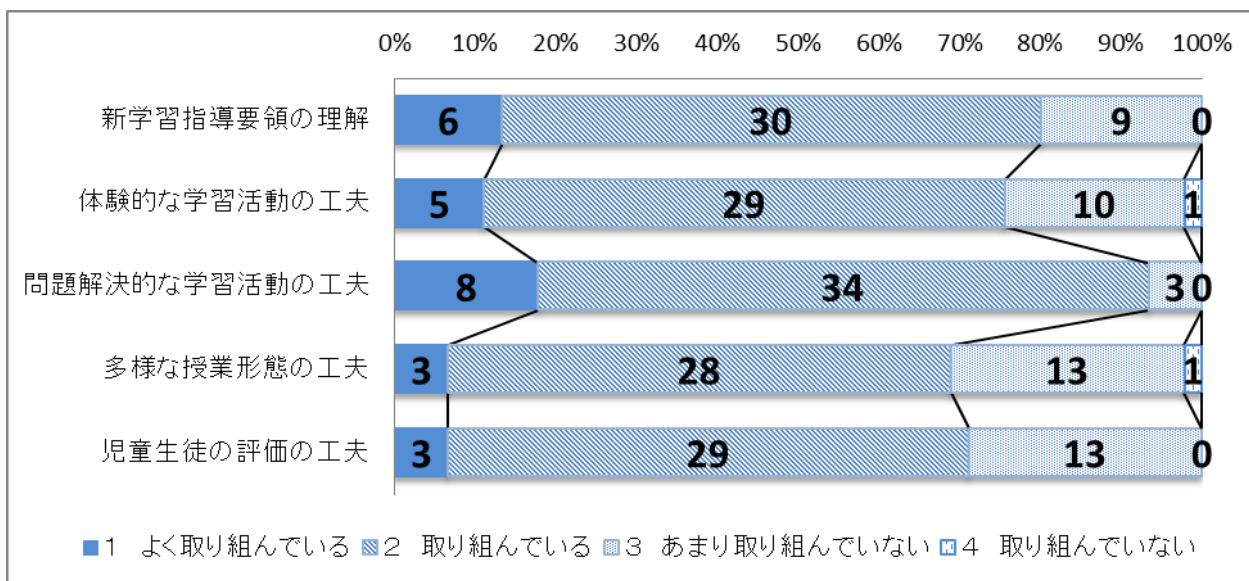
高学年部会

- ・板書を生かす工夫
- ・導入における資料提示の工夫
- ・話し合い活動の工夫

【その他】

- ハートメーター、CDの効果音など議論させる方策が勉強になりました。
- ハートメーターは思いを伝えることが苦手な子ども自分の気持ちを表現できるマストアイテムです。
- 「二重自我法」という新しい方法を学ぶことができました。今後に生かしていきたいです。
- 価値に迫るために1つの課題からそれについて話し合っていくやり方が大変勉強になりました。

2 「特別の教科 道徳」全面実施に向けて現在どのようなことに力を入れていますか



3 日頃、道徳の授業で感じている悩みや取組

- 来年度から評価が始まることでの準備や学校全体で主任としてすべきこと。
- 児童の意見、考えを教師が聞き、まとめるという形になってしまい、話し合いが深まらない。
- 子供たちのたくさんの意見が出てくるような効果的な導入や発問、終末の工夫等。
- 来年に向けての別葉の作成や評価の方法など、準備が不十分かと思っています。
- 多面的、多角的な考えになるような授業の中での工夫について学びたいです。
- グループやペア活動など、時間配分がとても難しいなと感じています。
- 従来の道徳の授業の流れが新学習指導要領になりどう変わっていくのか。
- 教師が自ら考え、主体的に判断し、指導方法を模索していかなければならないと感じています。